

いきものの情報を“活かす” 環境情報GIS

環境情報GISとは？

事業エリア周辺の生態系に関する環境データを電子地図上に記録できる環境情報管理システムです。



環境情報GISの特徴

情報は記録するだけでなく、環境教育等にも活用可能

GISのマップ上に、現場で発見した動植物の写真および情報（動植物名、位置情報、日付など）を記録します。日付を遡って記録を見返せるため、施工後の事後調査に活用することが可能なほか、環境教育にも有効です。

例

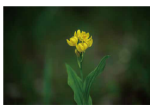
工事中、現場職員が収集した希少種「キンラン」の情報をを用いて、現場内で環境保全教育を実施したい。



環境保全教育

例

施工後の事後調査のため、工事に移植した希少種「キンラン」の移植時期・移植場所を知りたい。



キンラン

□ 観察年月日 2022/01/19 ~ 2022/12/19

動植物区分 植物 動植物名 キンラン

No	18-0
動植物区分	植物
動植物名(和名)	キンラン
レッドデータブックランク	絶滅危惧II類 (VU)
観察位置 (X座標)	140.0840479
観察位置 (Y座標)	36.0764595
観察年月日	2022年05月14日
観察時刻	09時10分
写真	
観察位置 (名称)	シラカシの下
観察位置の方角 (8方位)	南
確認した個体数	1株
観察状態	開花した状態
調査員氏名	安藤太郎
履歴	1/1

検索画面に情報を入力し をクリック

Leaflet | Map data (C) 地理院タイル, ©

※イメージ